

## 2009 年秋のアユ仔魚の成長

酒井明久

### 1. 研究目的

アユの成長の変動は、餌の量や濁りの発生など環境の変動を反映する。また、成長の早遅は生残にも深く関わると考えられる。そこで、2009 年秋におけるアユの成長履歴や平均的な成長速度を調べた。

### 2. 研究方法

2009 年 10 月 19, 20 日にヒウオ生息状況調査で採集されたアユ 78 尾を対象に、耳石の輪紋間隔を測定し成長履歴を推定した。さらに、同年 12 月 8 日に菖蒲沖の琵琶湖で沖びき網によりアユを採集し、ふ化から採集されるまでの平均的な成長速度を調べ、前年同時期に同様に採集されたアユと比較した。

### 3. 研究結果

成長履歴の解析から、2009 年のアユの成長

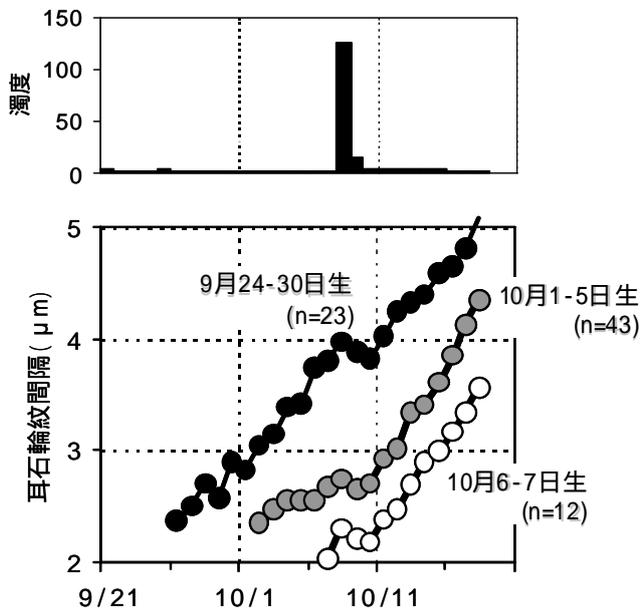


図1 2009年秋のアユの成長履歴。  
濁度は国土交通省HP「水文水質データベース」より観測所「彦根」の濁度を使用。

は、台風の通過により琵琶湖に濁りが発生した 10 月 9 日から 10 日にかけての 2 日間、停滞していたことが判明した(図 1)。

ふ化してから 12 月までの平均成長速度を 2008 年と 2009 年で比較すると、9 月下旬生まれのアユでは 2009 年が、10 月上旬と 10 月中旬生まれのアユでは 2008 年がそれぞれ早かった(図 2)。

### 4. 研究成果

2009 年に観察された台風通過後の一時的なアユの成長停滞は 2 日間で解消した。同様の現象がみられた 2004 年には成長停滞が約 10 日間継続したことから、影響の程度は軽微であったと推察される。

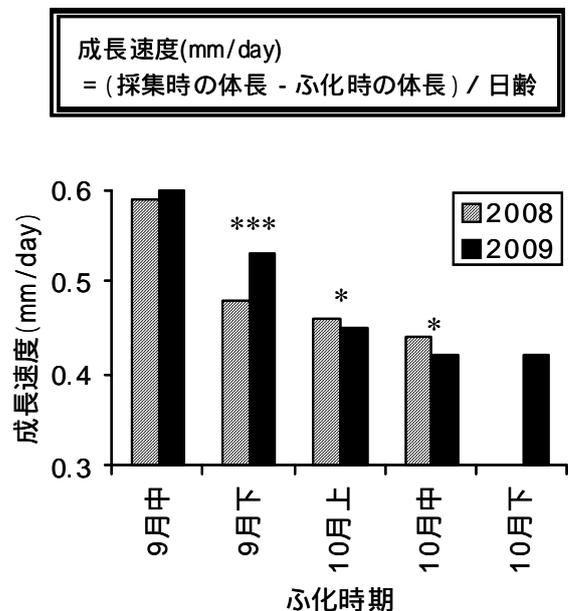


図2 2008・2009年秋におけるアユの成長速度。\*\*\* :  $p < 0.001$ , \* :  $p < 0.05$